



学会ホームページ <http://jasce.jp>

078号(2024年11月30日)

## 目次

- 第20回全国大会報告
- 『協同と教育』への投稿募集中
- 『協同教育実践論文集』への投稿募集中
- 第12回オンライン講座「日本の協同学習」のご案内
- 学会ワークショップ 今後の予定(判明分)
- 各地の研究会・勉強会

## 第20回全国大会報告

大会テーマ：よい理論ほど実践的である—協同の理論と実践の往還—  
10月26日(土)と27日(日)の2日間、第20回の全国大会を中村学園大学(福岡市)で開催しました。大会参加者は152名(会員123名・一般29名)でした。会期中、12件のワークショップと3件のラウンドテーブル、27件の口頭発表が行われました。また、参加者のうち約半数が1日目夕方のイブニングセッションにも参加されました。

1日目の大会記念講演では早稲田大学の河村茂雄教授をお招きして「協同学習の成果は学級集団の状態に規定される—理想と現状の大きな乖離の中にある学校現場—」と題して、不登校の児童生徒数が過去最高を更新している現状を踏まえ、協同学習の価値と課題に関して、学級集団づくりについて集団の安定度

や活性度の観点と具体的な事例と関連づけながらご講演いただきました。学校教育の現状を踏まえると、協同を基盤におく教育や学習の価値の高さが再認識され、参加者の研究や実践へのマインドが高まった機会になったと思います。

大会期間を通して、記念講演、口頭発表、ワークショップ、ラウンドテーブル、イブニングセッションの各プログラムにおいて、活発な交流があり、参加者のみなさんの研究や実践のアイデアについて交流を深める場になったこと、そして、今大会での交流の結果が全国各地のさまざまな領域で活用されていくことを実行委員会一同喜んでおります。そして、大会の運営にあたっては、多くの方々のご支援を頂戴いたしました。本当にありがとうございました。

本学会の会員のみなさまの協同

学習や協同教育に関する継続的な研究や実践が、日本や世界の学習や教育をより良いものにすると思います。それぞれの研究や実践をもう一歩進めて、次回の第21回大会(名桜大学・沖縄県名護市、2025年9月13日(土)~14日(日))にて、それらの成果や課題を持ち寄り、交流する豊かな時間を過ごしましょう。

日本協同教育学会第20回大会実行委員会 委員長 野上 俊一

## 『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿を随時受け付けています(次号は第20号です)。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月以上を要します。みなさまの積極的な投稿をお待ちしております。

## 『協同教育実践論文集』への投稿募集中

創刊号発行に向けて投稿を受け付けています。「『協同教育実践論文集』執筆・投稿規程」と「『協同と教育』並びに『協同教育実践論文集』の投稿区分に関する申合せ」について、学会HPに掲載していますので、ご確認ください。『協同教育実践論文集』投稿者が執筆のサポートを受けることを希望する場合は、学会員の中から世話人を立てることができます。みなさまの投稿や問い合わせをお待ちしています。



# JASCE

## 第12回オンライン講座「日本の協同学習」のご案内

12月14日(土) 14時から、第12回オンライン講座「日本の協同学習」を開催いたします。この講座は、学会設立15周年を記念して会員の皆さまに配本した『日本の協同学習』(2019, ナカニシヤ出版)をテキストとして1章ずつ学ぶものです。第12回は北海道教育大学名誉教授の鹿内信善先生を講師としてお迎えし、第9章「看図アプローチと協同学習」のご講話とご講話に基づく参加者間の交流を予定しています。学会ホームページから参加の申し込みをされた方にZoomのアドレスを送付いたします。テキストをご準備いただければ、未会員の皆様の参加も大歓迎です。参加費は無料です。皆さまのご参加をお待ちしております。(研修委員会)

## 各地の研究会・勉強会

### (大阪地域)

#### 協同学習を用いた看護教育研究会

◇第55回「協同学習を用いた看護教育研究会」は、11月23日(土) 13時30分から16時30分に、オンラインで開催しました。今回のテーマは、「協同学習の考え方と技法を用いた効果的な振り返りについて考えるーグループ活動の振り返りに焦点をあてー」でした。まず、文献として、ジョンソン,D.W./ジョンソン,R.T./ホルベック,E.J.著 石田裕久・梅原巳代子訳『学習の輪 学び合いの協同教育入門』と、杉江修治先生の『協同学習入門:基本の理解と51の工夫』、『協同学習を深める 主体的、協同的で生き方につながる

## 学会ワークショップ 今後の予定 (判明分)

### <ベーシック>

2025年3月22日(土)、23日(日)【主催】 申し込み受付中

会場：和洋学園九段スカイビル(東京都千代田区)

講師：佐瀬竜一・伏野久美子

### <アドバンス>

2025年3月8日(土)、9日(日)【主催】 申し込み受付中

会場：創価大学(東京都八王子市)

講師：水野正朗・関田一彦

最新情報、詳細情報、参加のお申し込みは学会HP (<https://jasce.jp/1031workshop.php>)からお願いいたします

る学びの実現』のご著書から、「振り返り」の意義・重要性について学習しました。次いで、協同学習の考え方、技法を用いた「振り返り」の実際について実践報告を拝聴した後、参加者が互いの実践を共有し「協同学習の考え方と技法を用いた振り返り」にするためのヒントをつかむ、ことを目標にしました。詳細については、次回のニューズレターでご報告させていただきます。◇第56回のご案内：2025年1月25日(土) 13時30分から17時30分、グランフロント大阪アクティブスタジオで、対面開催を予定しています。連絡先：研究会代表 緒方巧(t-ogata@baika.ac.jp)

### (全地域)

#### 全国看図アプローチ研究会

◇『全国看図アプローチ研究会研究誌』23号を公刊しました。

23号は「看護教育特集」になりました。内容は看護教育ですが、小中高の授業づくりにも役立つアイデアが満載です。もちろん、専門学校や大学の様々な科目での活用もできます。ぜひお読みください。

### 掲載論文▼

1. 「食道の解剖生理」授業づくりにおける看図作文法の有効性ーその予備的検討ー(織田千賀子)  
[https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.23\\_pp.3-16.pdf](https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.23_pp.3-16.pdf)
  2. 看図アプローチを活用した基礎看護技術における事例展開演習の試み(高橋梢子・鈺 貴裕・安部史子)  
[https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.23\\_pp.17-23.pdf](https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.23_pp.17-23.pdf)
  3. 「自分の成長を考えるワーク」へのきゅうちゃんの活用ー看護専門学校1年次学生を対象としてー(村山信子・石田ゆき)  
[https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.23\\_pp.25-37.pdf](https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.23_pp.25-37.pdf)
  4. 編集後記(鹿内信善)  
<https://kanzu-approach.com/journal/kanzu-journal.vol.23-henshukoki.pdf>
- 連絡先：研究会事務局長 石田ゆき (kanzu.approach.office@gmail.com)